

事業所における自己評価結果(公表) 【児童発達支援】

公表: 令和2年2月7日

事業所名: 原田学園こぼの支援センター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・掲示板の活用、カレンダー掲示をおこなっています。	現状を維持しつつ、課題が生じた際は速やかに対応します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・毎日確実に掃除の時間を設け、チームクリーナや次亜塩素酸を用いて消毒しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	○		・毎朝のミーティング、月に一度の定例会議、業務管理会議の中で議論を重ねています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・HP上の公表以外にも、事業所の掲示板にも貼っています。	内部研修は実施していますが現状では不定期開催ですので、定期的な研修の実施を目指します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・第三者評価を外部に実施しているわけはありませんが、当事業所は多くの学生実習や外部からの見学者の受け入れも積極的に行っており、外部からの意見を積極的に聴く体制づくりを行っています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・外部研修にはそれぞれの専門職が参加しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・言語聴覚士や臨床心理士が実施しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの児童発達支援の提供すべき支援の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家庭支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			支援方針をチームで検討する機会は十分ではないため、今後は業務調整機会を増やしてまいります。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
関係機関や保護者との連携関係	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを判断しているか	○			
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		・医療的ケアが必要なお子さんはいませんが、人工内耳の病院などの連携はある。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・必要に応じて行っている	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・必要に応じて行っている	サービス担当者会議は他事業所開催の時、参加が難しい現状があります。今後は可能な限り参加できるように調整してまいります。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・ご希望がないため実施していない	
	29 (自立支援)協議会や子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
保護者への説明責任等	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に「対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)」の支援を行っているか	○		・当事業所は母子連帯を基本としており、書面の中でお話しの中で、ご家庭での対応について共有し、保護者様と一緒に考えている必要に応じて臨床心理士による保護者研修を実施しています。	
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・ご希望がないため、現在実施していない。	保護者の会の開催は保護者様の要望に応じて検討してまいります。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・掲示板へ掲示してお伝えしている。またSNSも利用している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
非常時の対応	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を行っているか	○		・地域の行事と一緒に参加している	
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか	○			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	○		・給食の提供はしていないが、言語聴覚療法の中で、食物を利用する場合は保護者様に十分に確認を行っている。	各種マニュアルは準備していますが、利用者様への周知が不足しております。今後は周知を徹底してまいります。
	45 エビ/ハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・個々の事例について職員間で共有し、解決策の策定、実施を行っている。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・対象児なし		

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。